

“水と人々の暮らし” を展示の主テーマにしています。

水に囲まれた神栖。二つの地形模型は、水とともに歩みながら、昭和 35 年(1960)に始まった
鹿島臨海工業地帯造成事業により変貌をとげてきた神栖市の姿を比較します。

ひら 「市を拓く」

現代の姿

人々は豊かな水の恵みを
受けながら、水との厳しい
闘いを繰り返し、水辺を開
拓しました。



鹿島港



さと 「水の郷」

明治 18 年(1885)を再現

水に囲まれた市域と砂丘
のオアシスと親しまれた
旧神之池の姿がよくわか
ります。



旧神之池

